

# ティ・ピー・エスサービス 草野球チーム 始動!



令和元年に伴って我が社の草野球チームが始動しました!

初練習は6月9日(日)に長命ヶ丘グラウンドで行われました。野球大好きな佐々木部長の号令をきっかけに、約10名が参加。練習にも関わらずパートさんを始めとする多くの方々が応援に駆けつけてくれました。ありがとうございました。

もちろん、翌日は全員の体がパンパンの筋肉痛であった事は言うまでもありません。まだまだ、試合を行えるほどのチームではありませんが、まずは自らの力を知るために今回練習試合を行いたいと企画しています。

練習試合の対戦相手(小学校高学年から中学生位の実力あるチームを希望します)や我がチームの一員になってくれる方も合わせて募集しておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

興味ある方は次回の練習へ是非ご参加下さい。



次回の練習は、

日時：7月21日(日)

場所：名取川富田緑地運動場

時間：PM13:00～

\*天候によって中止になる場合もあります。



## 夏だ! ビールだ!



いよいよ夏も本番ということで、次回のマスタースクールは社員やパートの皆様達の更なる懇親を深めるために暑気払いを行うこととなりました。去年も大好評でしたので今年もやります! お待ちしておりますので是非とも参加をお願い致します。

日時：7月27日(土)

場所：キンピアフェスタ仙台駅前店

時間：18:30～

会費：社員¥1,000～ / パート¥500

会社情報はホームページを!  
<http://tps-s.co.jp/>



ブログも随時更新中です!  
ぜひご覧ください♪

## 編集後記

夏ですね。早く梅雨明けしてもらい快晴の青空の下で遊びたいです。と言いながらこの社内報を作成中に体調を崩しております。寒暖の差が激しいからなのか? はたまたストレスか? 咳と鼻水が止まりません。そして、その他に虫歯も5本見つかりました。ついておりません...(>o<) 皆様も体調には気をつけてください。何事も健康でないと出来ませんからね。で、歯も大事です。一生使います。おいしいものを食べるには虫歯も早く治そうと思います。こちらも皆様、定期的な検診をお勧めいたします。

編集委員 中川・土屋・榊原・鈴木・秋田営業所 神馬

# TPS NEWS 2019 vol.92

7月号

光る輝きをサポートします

～究極の夢と空間を追い求めて～

繁栄物語助演会社  
株式会社ティ・ピー・エスサービス  
住所 仙台市泉区上谷刈字治郎兵衛下48-3  
電話 022-372-0815  
発行責任者 藤巻 紀夫

この紙面は「繁栄物語助演会社」として地域の皆様、お客様、社員、お取引先の皆様、そして志を共にする関係業界の皆様のお役に立つために編集されています



## 6月10日 創立記念日

令和元年6月10日をもちまして、26回目の創立記念日を迎える事となりました。これもひとえに皆様方の厚いご支援と温かい激励の賜でございます。従業員一同深く感謝を申し上げます。



今回も二柱神社宮司様にご祈祷して頂きました。事業繁栄と共に従業員一同の安全と健康をご祈祷しました。

これからも皆様に十分満足いただけるよう従業員一同、サービス向上に努める所存でございますので、何卒より一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## ～社長コラム～ 仙台泉ロータリークラブ ～浦戸諸島 野々島での事業活動、学びをお伝えいたします～



齋藤 正人

### 『松島白菜物語』

日本の白菜は明治期に中国の大陸から渡来しました。しかし、当時の一般的な食事には、なかなか普及しませんでした。白菜を含むアブラナ科(アブラナ属)の植物は、同じアブラナ科の植物同士、容易に交雑してしまう性質があり、純度の高い種子を採る事が難しかったからです。アブラナ科植物の花を「菜の花」と呼びますが、日本では、古くから油をとるためのナタネや野菜として食すカブやユキナなどアブラナ科の植物が数多く栽培されており、春になると一斉にいくつもの種類の「菜の花」を咲かせていました。国土の狭い日本では、ハチなどの昆虫はたつきにより白菜のめしべに他のアブラナ科植物の花粉が着きやすく(受粉・交雑しやすく)純度の高い白菜の種子を採る事ができなかったのです。大正期に入り、宮城県内の研究者らにより昆虫などはたつきの影響を受けない隔離できる採種地として松島湾内の離島が選ばれました。離島での採種の試みは成果を上げ、日本で初めて高純度の白菜のタネをとる事に成功しました。松島湾内の島で採れた白菜のタネには「松島白菜」と名付けられました。

### 『仙台白菜物語』

良質な白菜の種子の普及により大正期から宮城県内では、全域に白菜の大きな産地がつくられました。宮城県産の白菜は「仙台白菜」の産地銘柄で全国に出荷されました。大正後期から昭和初期戦前まで宮城県は全国一の出荷を誇る「白菜王国」となりました。大正11年(1922)に創業された美里町小牛田の種苗会社渡辺採種場では、浦戸の島々に暮らす人々の協力を得ながら育種と種子の量産化に取り組みました。浦戸の島々で採れた良質な「松島白菜」のタネは宮城県内だけではなく、全国の農村にも供給されるようになりました。

### 『みんなの白菜物語』

東日本大震災が発生した平成23年(2011)以降野々島では「白菜の採種文化」をテーマとした食の学びと地域づくりの活動が続けられています。明成高校調理科の生徒や地元小中学校の児童・生徒たち、島民のみなさんや島を訪れる多くのボランティアの方々などとの協働で百年の歴史を有する「白菜の採種文化の保存活動」にも取り組んでいます。春には菜の花を咲かせ、初夏には白菜のタネを採ります。この活動で採種されたタネは、ふるさとの「食の学びのタネ」として、希望する学校や団体などに配布されています。

★皆さんも浦戸諸島に是非訪ねてみて下さい★



野々島 白菜畑に「白菜物語」の学習教育パネルを寄贈いたしました。

# 緊急地震速報!!



6月18日(火) 22時22分に新潟・山形で大きな地震が起きました。皆さんも携帯アラート音にドキッとしたのではないのでしょうか? 宮城県沖地震から41年、東日本大震災から8年、年数と共に私たちの記憶も薄れていたのではないのでしょうか? 皆さんのご自宅にはトイレットペーパーやお水など十分な備えがありましたか? 色々と考えさせられる1日でした。

今一度、備蓄品等の再確認をしておくことも大切ですね。右記に大まかなリストを記載しますので参考にしてみてください。

- ～備蓄品リスト～
- ・食料等
  - ・医薬品等
  - ・衛生用品等
  - ・照明等
  - ・暖房用品等
  - ・移送用具等
  - ・衣類等
  - ・生活用品等
  - ・非常持出品



弊社が総合管理で請け負っている業務にエレベーターが保守契約があります。地震の際は自動でエレベーターが停止しますが、機種によっては自動で点検し復旧するものもあります。弊社では、社内規則として震度4以上で、閉じ込めがないか現地確認を行っております。特に遠隔で監視されていないエレベーターを抽出し緊急対応で訪問を行います。今回、久しぶりの緊急対応が発生しましたが、社内コントロールスタッフや現地スタッフ手配などスムーズに稼働する事が出来ました。ただし、多くの改善意見も出てきましたので、今後の弊社緊急体制にいかしていきたいと思っております。

## 意外と知らない熱中症

### 熱中症の予防・対策

何時でも何処でも誰でも、条件次第で熱中症にかかる危険性があると言われておりますが、熱中症は正しい予防法を知り普段から気を付けることで防ぐことができます。これからの初夏や梅雨明け、体が暑さに慣れていないのに気温が急上昇するときは特に危険と言われております。無理せず徐々に体を慣らしていきましょう。

#### ～対策として～

シーズンを通して暑さに負けない身体づくりが大切です。気温が上がり始める初夏から適度な運動を行い、適切な食事、十分な睡眠を取るようにしましょう。

#### ～具体的には～

##### ※水分をこまめに取りましょう

喉が渇いていなくても、こまめに水分を取りましょう。スポーツドリンクは塩分や糖分や水分の吸収がスムーズで、汗で失われた塩分の補給にもつながります。出かける時は水筒などでいつも飲み物を持ち歩き、気づいた時にすぐ水分補給出来るようにしましょう。

##### ※塩分をほどよく摂取しましょう

毎日の食事を通してほどよく塩分を取りましょう。大量の汗をかくときは特に塩分補給をしましょう。

##### ※睡眠環境を快適に保とう

通気性や吸水性の良い寝具を使ったり、扇風機やエアコンを適度に使って睡眠環境を整え、日々ぐっすり寝ることで翌日の熱中症を予防しましょう。



# 第3回目マスタースクール開催



新元号令和になり初のマスタースクールを開催致しました。今期3度目の開催となりました。マスタースクールは、弊社のユニフォームを着用して働くスタッフの技術や知識向上を図り、誰が作業を行っても差が出ない事を目的に社内研修として年4回開催しております。担当している物件によっては、日常業務の中でスタッフ同士の交流が少ない方もおり、このような機会を通して技術だけではなく懇親の場としても有意義のある会になっています。今回のマスタースクールの内容は、「消防設備の緊急時対応」「転倒事故について」「ガラス清掃(実技)」「従事者研修講習」とたっぷり2時間、実りある学びの場となりました。

### ●万が一清掃中に火事が起こったら? どうする? 消防に通報?



火災はふとした時に身近に起こるものです。弊社の管理物件清掃中に火災が発生する場合も大いに考えられるシチュエーションです。今回、業務課佐藤より火災発生時の初期対応について話を致しました。

緊急時は少しでも起こり得る事を想定、イメージしていると、慌てながらも何をすべきか考えられるものです。いくつか事例を挙げながらその対処法についてお伝えしました。参加者からも「こんな時はどうしたら良いのか?」「どう動けば良いのか?」と積極的な質問や意見交換もでき、とても貴重な内容となりました。

### ●ガラス清掃の基本。専用資材で作業を行ってみよう。

各物件で汚れが目立ちやすいのがエントランス周りのガラスの汚れです。自動ドアや玄関のガラスは、小さいお子様も良く手に触れるのが目につきます。そんな時に専用のシャンパーやスクイジーを使用して作業を行うと容易にガラスがピカピカになります。

今回初めて手にした専用の道具で実際に作業を行ってみたり、ベテランスタッフは慣れた手つきで道具を使いこなしておりました。佐々木部長からも、失敗を恐れずに、経験を重ねる事が大事だと心強いアドバイスがありました。

